

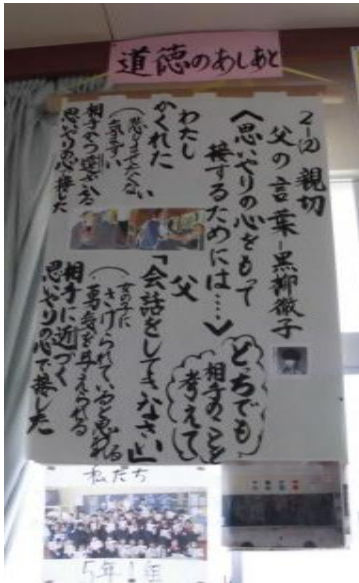
# ★道徳だより「こころ」(保護者向け)

中条小学校 道徳だより



H28. 7. 19

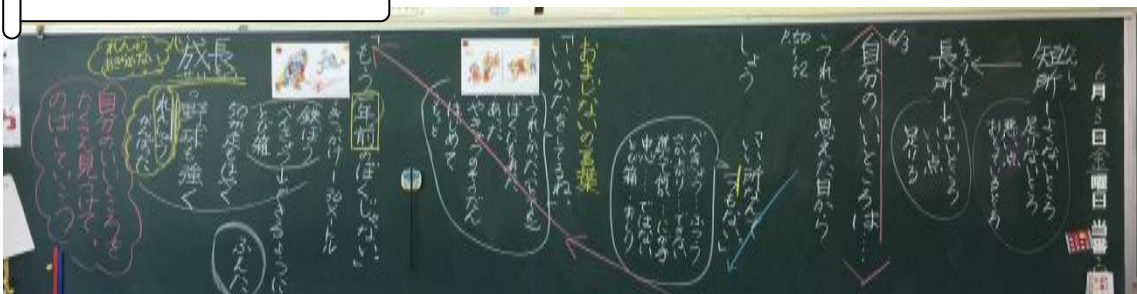
平成30年度より、道徳が「特別の教科 道徳」(仮称)として教科化されます。そこで中条小学校では、これまでも増して実践を見直し、より子どもの心を豊かにできるような取り組みを考えています。我々教職員は、道徳教育を通して子どもたちの豊かな心の成長を願っています。今後、学校での授業後にご家庭でもお子様と話をし、家庭でのコミュニケーションのきっかけとして頂けると幸いです。学校、家庭が連携して子どもたちの豊かな心の育成を目指していきましょう。



それぞれの学年・クラスで「道徳の足跡」を残しています。通知表渡しや学校公開などの時に、どのようなことを学習したのかをご覧ください。



## 3年生の実践



道徳の学習で学んだこと  
～どうとくのおしあと～  
3年1組

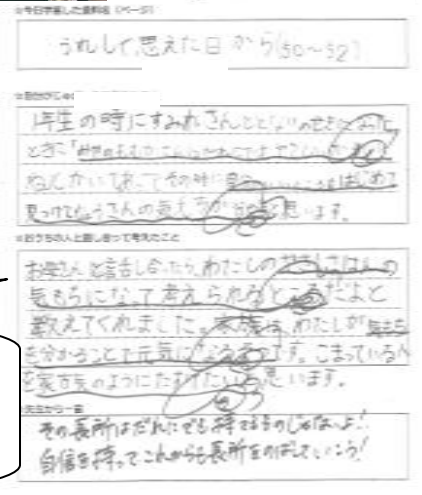
### ねらい

自分のよさに気づき、自分のよい所をのばそうとする態度を育てる。

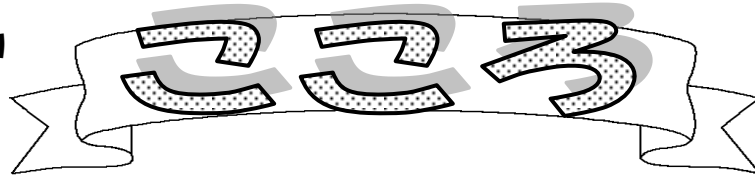
### あらすじ

長所がないと思っていた主人公が「おまじないの言葉」をきっかけに長所に気づき、長所をのばそうとしていくことで、不得手なこともできるようになってきた。

**子どものふり返り**  
お母さんと話し合ったら、わたしのやさしさは「人の気持ちになって考えられるところだよ。」と教えてくれました。家族は、わたしが気持ちを分かることで元気になるそうです。こまっている人を家族のようにたすけたいと思います。



学期に1～2回を目安に道徳授業後に、学年に応じたワークシートを持ち帰ります。その際には、教材を読んでお子様と話をして頂けると嬉しいです。



### 2年生の実践



#### ねらい

困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。

#### あらすじ

突然りすが来なくなったことを心配したぐみの木は、小鳥にりすのことを相談した。

小鳥がぐみの実を持ってりすのところへ行ってみると、りすは病気で寝ていた。小鳥は、りすに次の日も来ることを約束する。

次の日はあらしだったが、小鳥はりすのところへぐみの実を届けた。

あらしの中を来てくれた小鳥に、りすは礼を言う。

**小とりさんへ**  
 小とりさんすごい  
 ね。あたしだ  
 たら行けません。  
 ぐみさんも、ぐみの木  
 も、きょうれい気持ち  
 だと思ひます。あたしも  
 小とりさんのように、  
 人をたすけたね

**小とりさんへ**  
 わたしだったら行けません。り  
 すさんも、ぐみの木さんも、き  
 ょうれい気持ちになつたと思  
 います。わたしも小とりさんのよ  
 うに人をたすけたいです。

**小とりさんへ**  
 りすさんは、さいしょの  
 けだだけになおったのがよ  
 かったね。あらしの中行つたのが  
 すごかったよ。ぼくは外にも  
 づかれないよ。りすさんをたすけ  
 る力がすごいよ。

**小とりさんへ**  
 あらしの中行つたのがすご  
 かったよ。ぼくは外にもで  
 られないよ。りすさんをたすける  
 力がすごいよ。

お家の人からメッセージ  
 人にやさしくしたら、じぶんも  
 あたにかつてうれしい気分に  
 なるよね! やさしくされたら  
 じぶんもやさしくしよう。と思うよ  
 ね! やさしいわ、をつくりたいね!

先生からメッセージ  
 親切に、あす相  
 かい、もちにるんが、  
 とほすなにとだね!

お家の人からメッセージ  
 小とりののせいで  
 りすさんがけだに  
 ぶらたね! りすさんと話さ  
 ぶらにすだね!

先生からメッセージ  
 小とりののせいで  
 りすさんがけだに  
 ぶらたね! りすさんと話さ  
 ぶらにすだね!

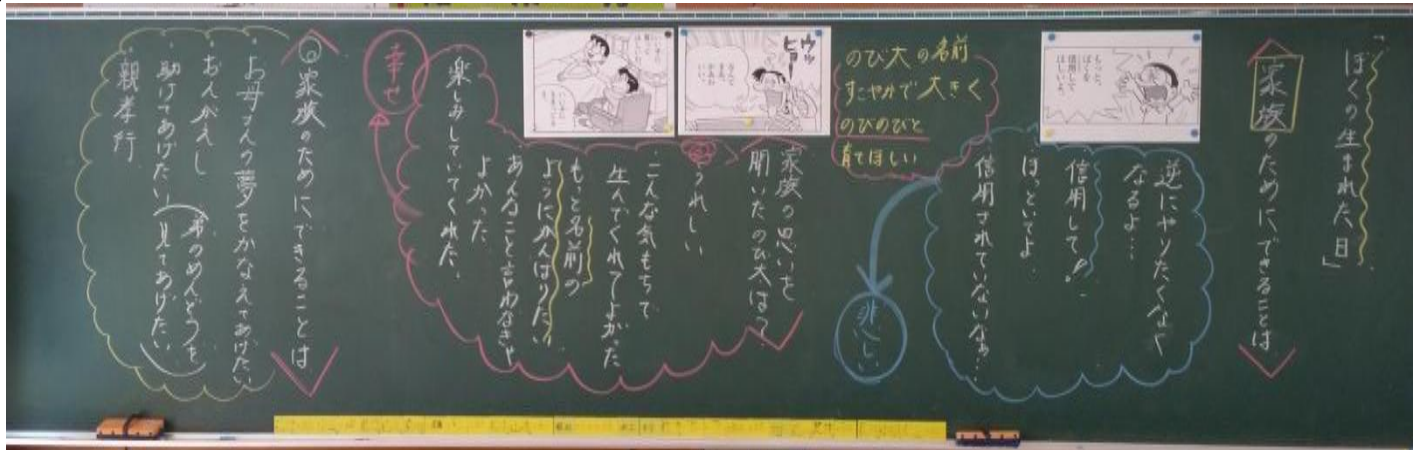
#### 教師の願い

小鳥が病気で寝ているりすのために嵐の中でとった行動を通して「親切」ということについて考えることができた。

親切にすることで「自分も相手もほかほかした気持ち」になるという言葉が子どもたちから出てきた。これからの生活の中で相手の気持ちになって親切な行動をとり、相手はもちろん自分の気持ちもよくなるということをたくさん経験してほしい。

# こころ

## 4年生の実践



### ねらい

父母、祖父母を敬愛し、協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。

### あらすじ

のび太がお母さんにしかられ、自分が大切にされていないと感じている。そんなのび太がタイムマシンで過去に戻って自分が産まれた日に、お父さんやお母さんが喜んでる姿を見る。そして、名前の由来やのび太へのお父さん・お母さんの願いや思いを聞く。今、自分がお父さんやお母さんに喜んでもらうにはどうしたらいいか考えている。

道徳の学習で学んだこと  
～おうちの人と考えてみよう～

4年1組 名前 ( )

☆今日学習した資料名

ぼくの生まれた日「ドラえもん」 家族愛

☆これまでの自分をふり返り、これから自分が家族のためにしてみようと思うことは？

お手伝いや、たん生日などになにかを  
買ってあげたりすること。  
注意されたらやくそくを守る。  
親こうこうをたくさんする。  
少しでも役立てるようにする。

☆おうちの人と話し合っ考えたことや感想を書きましょう。

わたしが生まれた時、泣くほどうれしかったと言ってくれてうれしかったです。たまにはんかして、いやになることもあるけど大事に育ててくれてありがとうと思えました。

☆おうちの方から一言あればお願いします。

初産の子に生まれてきてくれてありがとう。おかげで色んな経験ができています。これから頑張ってほしい女の子です。



### 教師の願い

親の愛を当たり前のものであるのではなく、どれだけ思われ、大切にされているのかということを感じ取らせ、自分自身が、家族の深い愛情に包まれて、日々成長していることに気づかせたかった。

この授業を通して自分自身も家族の一員としての自覚をもち、明るく楽しい家庭をつくろうとする気持ちを持つことができたように感じる。

